

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスととと		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 31日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 31日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門の職員が多く在籍しているため、専門のアプローチが出来る。	支援プログラムを基に活動計画の検討会を行い、各専門職が目的を持って支援を行うことが出来る。	職員全員(パート含め)が目的を把握して質の向上を目指す。
2	保護者との連絡ツールを統一しており、オンラインで情報共有を行っている。	連絡確認のサイン等オンライン化されている。活動記録などもタイムラグなく保護者が確認することが出来る。	手持ちのスマートフォンなどで気軽に連絡もできる。LINE等のフリーソフト等を使用せず、セキュリティにも気を遣っている。
3	児童の苦手なことをスモールステップで取り組み、楽しみながら活動を行えるよう、活動内容を工夫しています。	身体を大きく動かす運動の時間、言語や箸・ハサミなどの道具の使い方の練習を行う机上の活動の時間、絵本の読み聞かせなどで活動内容を構成し、遊びの中で楽しみながら取り組めるように活動内容を考えて取り組んでいます。	当事業所で児童が取り組むことができた内容等をご家族にHUGにて報告しております。また、お家でも取り組める活動をSNSなどで情報提供したり、ご家族に対しては面談時にお伝えしています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間での交流機会など検討しているが、実際の場を設けることができていないこと。	交流内容などの検討は行っているが、具体的な場所や日時の目途が付いておらず実施までは至っていない。	アンケートによる意見を参考にして保護者交流の機会を企画して実行したい。
2	各種マニュアルを玄関に掲示し保護者への周知を図っているが、アンケート内容より提示方法としては不十分であった。	マニュアルは数多く存在するため、保護者への説明となると多くの時間を必要とする。今回は玄関への掲示を行ってみたが十分な周知には至らなかった。	ホームページやInstagram等のツールを利用して幅広く保護者へ説明できる機会が提供できるように工夫を行っていく。
3	避難訓練など非常災害の発生に備えた対策の周知が不十分である。	保護者への連絡表などで対策の周知などを行ってみたが、具体的な部分までは周知することができなかった。	避難訓練の実施や緊急時の対処法などホームページやInstagram等のツールを利用して幅広く保護者へ説明できる機会が提供できるように工夫を行っていく。